

2018年度後期 学群教育改善計画

学群(学部)名	基盤教育群
学群(学部)長名	川村 保

1-(1). 授業評価アンケート結果を踏まえ、学群で改善すべき重点課題とその理由について3つ挙げてください。

※なお、前回から継続して同様の課題を記載する場合は、冒頭に「継続」と記載してください。

①	課題	【継続】アンケートの回答率が低いので十分に代表性のあるアンケート結果であるかについては問題があることを考慮しても、事前・事後の学習時間が不十分である科目があることが指摘される。
	理由	・科目の特性にもよるので調整はむずかしいが、授業によって難易度に差があるために予習・復習が必要になる授業とそうでない授業の差が出ている可能性がある。
②	課題	【継続】授業によって履修者の数が適正な人数を超えているケースがある。
	理由	・履修するかどうかの学生の判断が、授業の内容等による要因以外のものに左右されていると考えられる。
③	課題	【継続】学習環境の整備において、まだ不十分な点がある。
	理由	・改善は進んでいるものの、依然として老朽化した設備が飼養されているし、アクティブラーニングに適した構造の教室が不足している。

1-(2). 上記のそれぞれの課題を解決するための取組と、それらの取組を具体的にどのように進めていくか書いてください。

①	・入試改革以降、学生の授業への意欲や意識等が変化してきているように感じられるので、その点についてFD等の場を通じて検証する。
	・学生の意識の変化等についての、情報共有や共通理解化を図っていく。
②	・2019年度前期には韓国語や中国語を2クラス編成にするなどの改善をおこなっているが、一方のクラスに履修者が集中するなどの問題がまだ残っているので、引き続き改善を進める。
	・コモンズ等での活動を通じて学問の面白さを学生にアピールしていくことで、学生が履修科目を選ぶ際にその科目への興味を主要な理由となるように導いていく。
③	・体育館の施設等の整備や各教室の備品の整備については、引き続き注意し、事務局へ働きかけていく。
	・大規模な改修を伴いそうな事案については、次期中期計画策定も視野に入れながら施設等の整備の充実を図っていく。
	・時間割編成の中で適切な教室への配置を図るように調整していく。

2-(1). 各科目の授業改善計画から、授業実施・授業改善の良い事例を挙げてください。

- ・レスポンスカードで述べられていた意見や考え、あるいは疑問について、次の講義の中で説明する。
- ・授業の途中でレスポンスカードを書かせながら、授業を進めている。

2-(2). 上記の事例を学群の中でどのように共有して教育改善につなげていくか書いてください。

- ・双方向型の授業ができることが望ましいが、授業の特性や学生の意欲や態度によってはそれが難しいケースがあるのも事実であり、そのような場合にはレスポンスカードをうまく利用することが効果的であると思われる。教員会議やFD等の場で、情報共有することで教育改善につなげていく。